

□ 京都府立図書館 令和7年度の重点取組事項

- 1 非来館型サービスの充実
- 2 京都府立図書館の知名度アップ
- 3 他機関との連携の一層の充実

評価区分	評価の目安
5	着実に実施（効果あり）
4	着実に実施
3	概ね実施
2	進捗が遅れている
1	改善の必要あり
—	事業がないため評価なし

京都府立図書館サービス計画	事業計画 ●は複数年で取組みを実施	重点	令和7年度実績（12月末）	評価	評価コメント
I 府内全域の図書館等をつなぎ、支援するとともに、協力して図書館サービスを展開します					
1 府内の各図書館とのネットワークの充実					
各図書館が所蔵する資料が一括して検索できるとともに、資料の相互貸借を行うことができるK-Libnetシステムの確実な運用を図ります	OK-Libnetシステムの確実な運用の継続		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆K-Libnet参加館 104機関                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▷府立、市町村26、歴史館、議会、文化庁、ライトハウス、大学14、高校46、特支12、総合教育センター</li> </ul> </li> <li>◆SE作業（週1回）、定例会（月1回）、課題管理システムを活用し、確実な運用体制を確保</li> <li>◆参加館とはK-Libnetのメッセージや掲示板機能を活用し、双方向の情報共有を実施</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確実なサービス運用が実施できた。</li> <li>・運用上の課題などを双方向で共有し、引き続き確実なサービス運用に努める。</li> </ul>
大学図書館が所蔵する図書を府立図書館と身近な市町村立図書館で、府立図書館・市町村立図書館が所蔵する図書を大学図書館で、閲覧することができる取組を推進します。	OK-Libnet参加大学との相互貸借の実施（継続） OK-Libnet参加大学に巡回訪問実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆K-Libnet参加大学（14大学）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▷先端大、京大、京教大、福知山公立大、佛大、府立、医大、工織大、府立大、ノ女大、橘大、外大、京女大、花園大、精華大</li> </ul> </li> <li>◆K-Libnet参加大学との情報交換会 全大学について巡回（対面またはオンライン）を実施した</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加大学の増など、確実なサービス運用が実施できた。</li> <li>・閲覧だけでなく条件付きながら館外貸出可能な大学が増加。</li> </ul>
K-Libnet 参加館等へ資料を運ぶ連絡協力車の効率的な運行を図ります。	○連絡協力車の安心安全で効率的な運行（週2回）		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆連絡協力車を週2回運行                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▷運行回数 250回（計画通りの運行）（@320回）</li> <li>▷相互貸借冊数 44,051冊（@60,510冊）</li> <li>▷運行等についての意見聴取を市町村巡回時に実施（効率的な運行順について次年度に向け検討）</li> </ul> </li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡協力車について計画どおり運行できている。</li> <li>・大きな問題なく運行できている。</li> </ul>
K-Libnet システムの利便性の向上を図るため、大学・企業等との共同研究の取組を推進します。	○産官学プロジェクトの（書誌データ重複の解消）実装化への取組		◇重複書誌データ除去システムをK-Libnetに組み込むことについて検討	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者と協議の上、今後の方向性を見極める。</li> </ul>

令和7年度 京都府立図書館事業計画

京都府立図書館サービス計画	事業計画 ●は複数年で取組みを実施	重点	令和7年度実績（12月末）	評価	評価コメント
2 市町村立図書館への支援					
市町村立図書館支援のためのリクエストに応じるなど、資料の充実を図ります。	○収集基準に沿った貸出文庫の購入 ○リクエスト本の購入		◆資料の充実 ▷貸出文庫購入数 1,214冊（◎ 2,274冊） ▷リクエスト資料購入数 53冊（◎ 69冊） ▷本館市町村リクエスト資料購入数 55冊（◎119冊）	3	・都道府県図書館としてリクエストのルール化を検討
市町村立図書館のニーズを把握するための会議や巡回訪問を実施します。	○会議及び巡回訪問（オンライン含む）の実施によるニーズの把握		◆ニーズの把握 ▷京都図書館等連絡協議会総会開催 4/23 ▷市町村立図書館の職員巡回 6・7月（訪問）・1・2月実施予定（オンライン・訪問） ▷京都市立図書館との相互協力打合せは、市町村巡回と同時に実施	4	・職員訪問等でニーズの把握に努めている。 ・市町村図書館のサービス・事業の情報収集に努める。
風水害や新型コロナウイルス感染症等の経験を踏まえ、非常時における図書館運営に関する情報の共有や提供等を推進します。	○ホームページ、Xによる積極的な情報の発信		◆ホームページ：イベントや展示、所蔵資料の案内等のお知らせ 令和7年度 95件（◎126件） ◆X（旧Twitter）：開館のお知らせ、イベントや展示、所蔵資料の案内等のお知らせ 令和7年度 191件のポスト フォロワー数：1,882（◎ 226件のポスト フォロワー数：1,760） ◆YouTube：イベント等のお知らせ動画 動画：11本 ショート動画：5本 合計1,969再生（◎ 動画：5本 ショート動画：5本 合計1,154再生） ◆庁内掲示板：イベントや展示等のお知らせ 令和7年度 14件（◎ 16件）	4	・開館状況、イベントや展示、所蔵資料のお知らせによる来館者拡充や非来館の利用者拡充に努めている。
市町村立図書館のニーズを踏まえた職員が参加しやすい研修（オンラインを含む）を推進します。	○市町村立図書館等職員のニーズに対応した研修内容の充実 ○出前研修メニュー見直し	3	◆研修実施 ▷図書館・読書施設等相互協力者初任者研修 6/20（参加者24名 ◎26名） ▷レファレンス研修 ①初級 9/19（参加者25名 ◎35名） ②中級 12/10（参加者29名 ◎23名） ◆出前研修の実施 ▷本の修繕 長岡京市立図書館中央館 9/2（18名） ▷レファレンス 綾部市立図書館 9/30（12名） ▷著作権入門（新） 舞鶴市立東図書館 9/18（18名） 精華町立図書館 10/30（20名）	5	・図書館・読書施設等相互協力者初任者研修・レファレンス研修（初級・中級）を実施。 ・出前研修に著作権入門を新設実施。 ・参加者からの評価も高く、今後とも継続していきたい。
K-Libnet システムを活用し、市町村立図書館のレファレンス機能の充実を図る取組を推進します。	○市町村図書館や学校等からの相談対応 ○電子書籍を活用したレファレンスの実施		◆相談対応 ▷市町村レファレンス回答 24件（◎40件） ▷学校等レファレンス回答 3件（◎7件）	4	・適切な相談対応に努めている。

京都府立図書館サービス計画	事業計画 ●は複数年で取組みを実施	重点	令和7年度実績（12月末）	評価	評価コメント
3 学校支援の充実					
児童、生徒の調べ学習や学生の調査研究を積極的に受け入れます。	○調べ学習や調査研究の（積極的な）受け入れ		◆令和7年度（11団体 198名）（⑥9団体 202名） 京都文教小学校 5/9 20名 韓国・釜慶大学図書館 6/3 3名 中国・長春市外事弁公室 7/18 4名 城南菱創高校 7/18 24名 嵯峨野高校 7/30 43名 私立小学校連合会 8/22 10名 京都SKYシニア大学 10/8 35名 アリゾナ州立大学 11/14 2名 小論文グランプリ出席者 12/13 17名 京都華頂大学 1/7 12名 ノートルダム小学校 1/23 28名	5	・相手方の意向に沿った内容での見学・調べ学習の受入を行った。
調べ学習 や読書、図書館の展示等に活用する学校支援セットの充実を図ります。	○総合教育センターと連携し、学校のニーズに沿った探究学習プログラム（仮称）を策定し、学校支援セットや期間貸出等で子どもの学びを支援	3	◆学校支援セットの充実 ▷セット内容の再編・拡充 調整中 ▷各学校等へのリーフレットの更新・配布	4	・学校からのニーズを取り入れ再編・拡充予定。 ・リーフレットを更新。
総合教育センターと連携した研修を実施するなど、学校図書館の運営を支援するための取組を推進します。	○総合教育センターと連携し、学校のニーズに沿った探究学習プログラム（仮称）を策定し、学校支援セットや期間貸出等で子どもの学びを支援	3	◆ホームページの学校支援セットのページ ▷「在庫セット数」や「貸出状況」の確認が可能になっていることを研修等で広報 ・全指導者会議で動画配信 ・PTA指導者研修会で広報	4	・継続して実施。 ・全指導者会議・PTA指導者研修会等で説明し、利用促進を図った。
ホームページを活用した学校支援セットの利用促進を図る取組を推進します。	○ホームページ等を活用した電子書籍利用の支援		◆学校図書館の運営を支援 ▷総合教育センター主催の学校図書館教育講座 8/29	4	・継続して実施。 ・探究活動での連携の検討
大学や企業等と連携して、全ての府立学校の蔵書をインターネットを通じて検索し、相互貸借することができる取組を推進します。	○府立学校長会、府立高等学校図書館協議会への説明を踏まえ、横断検索試行開始	3	◆府立高等学校図書館協議会の総会での説明 4/25・2/6	4	・府立学校への丁寧な説明に努めている。

京都府立図書館サービス計画	事業計画 ●は複数年で取組みを実施	重点	令和7年度実績（12月末）	評価	評価コメント
4 子ども読書活動の支援					
子ども読書の日（4月23日）を記念する事業に取り組みます。	○第14回子ども読書本のしおりコンテストへの協力		◆第14回子ども読書本のしおりコンテスト ▷作品応募数 4,432点（◎5,040点） 審査会 9/26 表彰式 11/1 ▷市町村立図書館・読書施設等での巡回展示 36施設（◎36施設）	4	・昨年度と同様の巡回展を実施中である。 ・子どもの読書活動推進に有意義な取組となっている。
「きょうと子ども食堂」「こどもの居場所」に取り組む団体や「京都府教育委員会認定フリースクール」等の様々な民間団体と連携し、子どもの読書活動に寄与する取組を推進します。	○第五次子ども読書推進計画を踏まえ、きょうと子ども食堂・こどもの居場所実施団体へのニーズに合った選書方法の検討	3	◆きょうと子ども食堂・こどもの居場所実施団体への貸出 10団体 1,415冊（◎ 14団体 1,762冊） ◆府教委認定フリースクールへの貸出 1団体200冊（◎1団体200冊）	4	・子どもが来館時に選書しやすいように、館内地図や名札シールなどを整備した。 ・子ども食堂のニーズに合わせてられるよう、手続きや選書のマニュアルを整備し、気軽に借りられるよう、積極的にコンタクトを取っている。
市町村立図書館が実施する児童サービス等に関する情報の収集と発信に努めます。	○情報の収集と市町村立図書館間との情報共有		◆ホームページの「府内図書館等の行事一覧」から情報を発信	3	・随時更新を行っている。 ・共有方法の検討。

京都府立図書館サービス計画	事業計画 ●は複数年で取組みを実施	重点	令和7年度実績（12月末）	評価	評価コメント
II 多様な文化資源の情報を取り扱い、幅広い調査研究のニーズに応えます					
5 多様な資料の収集・整理・提供					
毎年7万点以上の書籍が発刊される中、収集方針に基づいた多様な資料の収集を図ります。	○収集方針に沿った資料の購入 ○京都府生涯現役クリエイティブセンター及び日本政策金融公庫との連携（ビジネス支援） ○電子書籍等を活用したビジネス支援等の取組の検討		◆購入冊数合計 3,783冊（@5,394冊）	3	・購入冊数はさらに減少。特に高額なしファレンスブックについては、購入を見送っているものも少ない。
ビジネス支援等の課題解決や調査研究に役立つ資料の収集を推進します。			◆日本政策金融公庫との連携 図書の寄贈、連携展示 7/25～8/27 連携相談会 7/23・11/26	4	・図書館外にも実施の広報に力を入れ、今年度も継続して着実に実施できている。
美術館コーナーを設置するなど配架の工夫を進め、限られた開架スペースの活用を図ります。	○ビジネス支援コーナー等のさらなる活用 ○特設コーナー展示の積極的な広報		◆美術館新着コーナー（4回）No.97～100 ◆「ビジネス×図書館」コーナー（R4.2設置）を継続して活用 ◆地下閲覧室の旧美術館新着コーナー棚を、美術関係特設コーナーとして展示。（2回）	4	・周辺施設との連携展示、ビジネス支援、府民の知りたいにに応える展示など、今後さらなる活用を検討する。
シナリオコレクションなど所蔵している貴重な資料の整備、活用を推進します。	○取材や館内見学会での積極的な発信		◆館内見学会を毎月実施 ◆外部広報媒体等との連携 週刊新潮3月7日号「とっておき私の京都 三宅香帆」 IMPRESIAL Number131,2025「竹久夢二の京都」 建通新聞新年特集号	4	・館内見学会を継続して実施。 ・外部広報媒体は、府立図書館の広報となることから、連絡があった場合は積極的に対応している。
6 十分な収蔵空間の確保による資料の適正な保存					
保存センターの役割を担う図書館として、書庫環境の充実に向けた取組を推進します。	●書庫問題に関する調査・検討 ○複本の除籍・移管（歴彩館等との調整）		◆書庫問題については内部で検討（書庫内の配置換えを一部で実施） ◆複本の除籍等については歴彩館とまだ調整できず	2	・図書館運営の課題の一つとして検討を進める必要があり、検討に時間を要している。
収集した資料の損傷や劣化を防ぐ取組を充実するなど、適切な保存に努めます。	○修繕スタッフの育成・技術の継承（館内での研修開催） ○国立国会図書館主催の修繕研修への参加		◆資料修理講座参加（奈良県立図書情報館共催）8/26	4	・継続的に育成に努める。
市町村立図書館と連携して府内1冊所蔵図書の的確な把握と保存に取り組みます。	○府内1冊所蔵図書の把握と移管	3	◆府内1冊所蔵図書の受入0冊（@60冊） ◆市町村立図書館・他機関からの貴重書等の寄贈37冊（@216冊） 【内訳】京都市東山図書館10冊 京都伝統産業ミュージアム2冊 総合政策環境部企画統計課21冊 平木浮世絵財団4冊	4	・今年度も継続して着実に実施できている。

令和7年度 京都府立図書館事業計画

京都府立図書館サービス計画	事業計画 ●は複数年で取組みを実施	重点	令和7年度実績（12月末）	評価	評価コメント
7 各種電子サービス等デジタル環境の整備					
国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」をはじめ、調査研究に役立つデータベースの充実、活用促進を図ります。	○各電子サービス利用促進のための広報		◆ 館内見学・視察の際の紹介に併せ、ホームページ及びチラシの改訂を行い、オンラインを含めたデータベース利用の周知に取り組んだ	3	・今年度は対面での周知にとどまったので、より範囲を広げた広報を行っている。
電子書籍の導入に向けた取組を推進します。	○電子書籍の利用促進のための取組の実施	1	◆府立学校への専用カード番号発行47校32,898名分（通算） （⑥ 46校30,225名分） ◆京都府内の学校において積極的に活用いただけるよう、希望する学校の生徒や教職員に専用カード番号を発行 ◆電子書籍・オーディオブック広報 PTA指導者研修会 7/8 京都府学校図書館協議会特別支援学校ブロック 7/29	5	・府立学校への専用カード番号の発行について、適切な運用ができています。 ・京都府内の小中高校への取組は、9に記述。 ・利用促進への取組として、館内見学会での案内を実施している。
閲覧室にWi-Fi環境を整備するなど、調査研究に役立つ取組を推進します。	●システム更新を見据えたWi-Fi環境の拡充を検討		◇次回システム更新時にWi-Fiエリアの拡充についても検討	4	・延期された次回システム更新に向けた検討。
テーマ別資料リストや図書リストのオープンデータでの提供等を推進します。	○ホームページでの積極的な公開		◆所蔵資料の積極的な発信 新刊案内13回、資料紹介9回・記事紹介9回 （⑥新刊案内24回、資料紹介7回・記事紹介12回・視聴覚資料紹介2回）	3	・新刊案内（こんな本入りました）等のXでの発信。
8 所蔵資料紹介・レファレンス業務の充実					
多様な図書に出会える企画展示等の実施、テーマ別資料の作成、ホームページを活用した図書の紹介に努めます。	○リストの整理と見せ方の工夫 ○動画等を使っての展示の紹介・アーカイブの検討	2	◆館内見学会に併せて電子書籍利用説明を実施 ◆YouTube上に公式チャンネルを開設し、展示関連の動画を配信 ◆ホームページ、Xで新刊案内や資料紹介を発信	4	・動画による広報を本格的に実施。 ・広報の強化のため、X以外のSNSでの取組について検討を進める。
国立国会図書館レファレンス協同データベースを活用したレファレンス業務の充実を図ります。	○積極的な登録（継続） ○レファレンス協同データベースに登録したレファレンスをSNSで発信	2	◆レファレンス協同データベース登録件数 29件（⑥27件）	4	・今年度も継続して着実に実施できている。
国立国会図書館等が開催するレファレンス研修に積極的に参加し、知識技能の向上を図ります。	○積極的な参加			4	・今年度も継続して着実に実施できている。

京都市立図書館サービス計画	事業計画 ●は複数年で取組みを実施	重点	令和7年度実績（12月末）	評価	評価コメント
9 来館者へのサービスの充実					
大学等と連携して、エントランス等における効果的な展示や案内の掲示を推進します。	○年間計画を作成し計画的な展示を実施	2	◆1階・2階・地下閲覧室・エントランスを活用した企画展示の実施 ◆月毎・時事・講演会関連展示の実施25回（1階展示ケース5回、地下特設5回、ミニコーナー12回、講演会関連1回、モダン建築祭関連、CONNECT関連）（⑤44回） 2階視聴覚関連展示1回（⑤9回） ◆ホームページ上での所蔵図書・視聴覚資料の紹介31回（⑤51回）	4	・今年度も継続して着実に実施できている。
障害者や外国人等を対象にした図書館案内の充実を図ります。	○外国語図書コーナーの内容を充実させるための定期的な内容の見直し		◆寄贈図書の受け入れに合わせて、見直しを実施。	3	・必要に応じて継続して実施。
図書館カードによる館内サービスの利便性の向上を図る取組を推進します。	○図書館カードの利用の検討（IDとして、マイページ以外にも複写の申込みに使えないか等）		◆マイナンバーカードの利用 全登録者数35名 新規0名（⑥35名・新規0名）	3	・マイナンバー関係法令改正に伴い運用停止し、新たな運用を検討中。
図書の貸出期間の延長等、情報通信機器を活用したサービスの充実を図る取組を推進します。	●先進事例を参考としたキャッシュレスサービスの調査・研究		◆先行事例を調査中	3	・公衆送信サービスの実施検討を含めて、先行事例を引き続き調査。
京都市図書館との相互返却サービスの取組を推進します。	○京都市図書館との「返却本お預かりサービス」の継続実施及び改善点の見直し		◆サービスの利用は増加傾向にあり定着しつつあるが、改善点の見直し等を検討中	4	・京都市図書館と引き続き運用を検討。
市町村立図書館と連携して返却サービスの利便性の向上を図る取組を推進します。	○各市町村図書館の意見を踏まえた遠隔地返却の検討		◆市町村立図書館等の状況を聴取して引き続き検討	3	・図書館の意見が様々であるので引き続き検討。
（視聴覚資料の資料提供の在り方の検討）	○提供が終了するメディアへの対応の検討	1			

京都府立図書館サービス計画	事業計画 ●は複数年で取組みを実施	重点	令和7年度実績（12月末）	評価	評価コメント
10 オンラインサービスの充実					
電子書籍をスマートフォン等情報通信機器により利用できる取組を推進します。	ONAXOS MUSIC LIBRARYのサービス充実 ○電子書籍及びオーディオブックサービスの充実 ○利用促進に向けた取組の推進 ○府内の希望する小中高校生にIDを付与	1	◆子ども読書活動応援事業として、令和5年12月14日から参加を希望する全ての府内の市町（組合）立、国立、私立の小中高特別支援学校・義務教育学校を対象に、学校を通じて、京都府立図書館の電子書籍等サービスが閲覧できるID及びパスワードを配付している。 ◆「子どもの読書活動応援事業」により学校専用ログイン画面を開発、府内小中学校へ専用カード番号発行 241校73,044名分	4	・京都府の全小中高生を対象にIDを付与することで、電子書籍サービスの利用促進が期待できる。 ・より一層の広報に勤める。
大学等と連携して、価値ある資料のデジタルアーカイブ化の取組を推進します。	○同志社大学との連携によるデジタルアーカイブ公開資料の効果的な活用を検討 ○新たなデジタルアーカイブ化の検討	1	◆同志社大学・京都府立図書館共同事業 京都府立図書館貴重書コレクションで公開 ▷京都府立図書館ホームページのトップページに関連オープンデータへのリンクアイコンを設置	2	・アーカイブの運用について、より効率的な運用を目指して、今後の方向性について検討。 ・シナリオアーカイブの試行。
電話やインターネット等によるレファレンスサービスや 図書の複写サービスの取組を推進します。	○HPでのオンラインサービスの整理・情報提供の充実 ○郵送複写の整理・充実（様式や申込方法の改正） ●著作権法改正（図書館資料のメール送信、令和5年6月施行）への対応を検討	1	◆著作権法改正による図書館資料のメール送信サービスは、補償金の支払いにかかる著作権団体の対応について、継続して情報を収集している。	2	・NDLが令和7年2月20日サービス開始、継続して情報収集のうえ対応検討。
インターネット等による 府立図書館カードの作成や図書の郵送貸出の取組を推進します。	○図書館カード（電子専用ログインID番号）の電子申請の広報強化等による推進 ○図書郵送サービスの継続実施	1	◆図書の有料送付サービス ▷申込数35件・発送冊数87冊 （⑥申込数33件・発送冊数79冊） ◆図書館カード電子申請 ▷申込数493件（申込到達数(差戻を含む件数) （⑥552件） ◆「京都府立図書館電子申請方法」の動画公開（R6.12月～）	5	・特に、電子書籍の利用希望者向けの電子申請（ログインID発行希望）が定着しつつある。 ・YouTube等の動画も利用してさらなる周知。



京都府立図書館サービス計画	事業計画 ●は複数年で取組みを実施	重点	令和7年度実績（12月末）	評価	評価コメント
1 1 障害者サービス等の充実					
<p>大活字本やデジ図書等の充実を図ります。</p> <p>対面朗読サービスの充実に努めます。</p>	<p>●「京都府障害者・障害児総合計画（読書バリアフリー部分）」の実現に向けた取組み</p> <p>① 視覚障害者等による図書館の利用に係る体制整備施設のさらなるバリアフリーにむけた取組み</p> <p>インターネットを利用したサービスの提供体制の強化</p> <p>② 府の他機関とも連携したサビエ、国会データ送信の利用、オンライン対面朗読に関する情報の提供</p> <p>③ 特定書籍・特定電子書籍等の製作支援 当館職員による技術の習得</p> <p>④ 端末機器等及びこれに関する情報の入手支援、情報通信技術の習得支援 当館HP等を通じたデジ再生機、音声読書機等の情報の提供</p> <p>⑤ 製作人材、図書館サービス人材の育成 読書バリアフリー推進に係る研修の実施</p>		<p>○ 大活字本の購入(60冊)。デジ資料の購入(0点)</p> <p>○ オーディオブックは、引き続き、エルシエロのオプション機能として提供</p> <p>◆ りんごの棚の充実（障害者理解の参考となる点字・書籍の追加）</p>	4	<p>・ 障害者サービスへの理解推進のため、りんごの棚の展示・資料を拡充した。</p>
<p>サビエ図書館が所蔵する点字図書や録音図書に関する書誌データベース（約70万点）を活用し、視覚障害者等を支援する取組を推進します。</p>		1	<p>◆ zoomによる対面朗読 121回 242時間</p> <p>◆ 来館による対面朗読 7回</p> <p>◆ 「CONNECT<sub>2</sub>」トークとワークショップ 「だれもが“読書”を楽しむために」における当館障害者サービスの周知（12月）</p>	4	<p>・ 必要な方が必要な時に府内どこでも利用できる環境の整備。</p>
<p>国立国会図書館が所蔵する学術文献録音図書DAISYデータや視覚障害者等用データ（音声DAISYデータ、点字データ等）を活用し、視覚障害者等を支援する取組を推進します。</p>			<p>◆ サビエ/国会図書館「視覚障害者等用データ送信サービス」の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声資料等貸出数202タイトル（デジ 163 カセットテープ 39 CD・点字データ 0）（当館所蔵 70 他館借受資料 132）</li> <li>・ 貸出先内訳：当館利用者92 府内図書館等103 府外図書館等7</li> <li>・ 借受先内訳：サビエ経由119 国会図書館13（デジ 13・電子書籍（txt/Epub形式） 0）</li> </ul> <p>◆ サビエ登録コンテンツ（点字/デジ）利用回数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 点字ダウンロード23（当館15 利用者8）</li> <li>・ デジダウンロード824（当館77 利用者747）</li> <li>・ デジ再生（ストリーミング）31（当館26 利用者5）</li> </ul> <p>◆ サビエ オンラインリクエスト送信・受信回数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他館資料に対する送信94（当館送信23 利用者送信71）うち デジ 29（当館送信1 利用者送信28）</li> <li>・ うち カセットテープ65（当館送信22 利用者送信43）</li> <li>・ 当館資料に対する受信67（デジ 67 カセットテープ 0）</li> </ul> <p>◆ 国立国会図書館視覚障害者等用テキストデータ作成申込数：26（うち 制作・提供済23 制作中1 謝絶2）</p>	4	<p>・ 「京都府障害者・障害児総合計画（読書バリアフリー部分）」の推進を図る。</p> <p>・ 今年度から、従来のデジに加え、点字データも市町村に貸出。</p>
<p>京都ライトハウス情報ステーション や近隣文化施設と連携して、共生社会を目指す取組を推進します。</p>	<p>○ 「CONNECT<sub>2</sub>」への参加</p>	3	<p>◆ 「CONNECT<sub>2</sub> ここちのここちをここちあう」（文化庁・京都新聞主催）に参加 11/8～12/14</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示会「展示会「100年前の京都インパウンド」」（1,842名）</li> <li>・ トークとワークショップ 12/6（21名）</li> </ul> <p>◆ 府内各教育局主催の「視覚障害者社会教育指導者研修会」において当館の視覚障害者サービスの紹介（来場3ヶ所、資料配布2カ所。総資料配布数1,644部）</p>	5	<p>・ 近隣の文化施設と連携し、障害者週間の趣旨に沿ったイベントを実施できた。</p>

令和7年度 京都府立図書館事業計画

京都府立図書館サービス計画	事業計画 ●は複数年で取組みを実施	重点	令和7年度実績（12月末）	評価	評価コメント
12 職員の資質・能力の向上					
<p>文部科学省、国立国会図書館、大学等 様々な機関が主催する研修・研究会等（オンラインを含む）への積極的な参加に努めます。</p>	<p>○研修計画に基づく積極的な参加 ○市町村向けの研修内容の館内での共有</p>		<p>◆京図連協研修 12/9・2/20</p>	4	<p>・積極的に参加できた。</p>
<p>大学や市町村立図書館の要請に応じた研修の講師を務めるなどの取組を推進します。</p>	<p>○集合研修の実施（オンライン含む） ○ニーズを踏まえた出前研修の充実</p>		<p>◆出前研修の実施 ▷本の修繕 長岡京市立図書館中央館 9/2（18名） ▷レファレンス 綾部市立図書館 9/30（12名） ▷著作権入門（新） 舞鶴市立東図書館 9/18（18名） 精華町立図書館 10/30（20名）</p>	4	<p>・計画どおり実施。 ・おおむね好評を得ている。 ・ニーズを踏まえた研修内容の検討。</p>
<p>様々な機関と連携したタイムリーな研修を実施します。</p>	<p>○文化財、防災、人権、接客研修の実施 ○他機関と連携した計画的な研修の実施</p>	3	<p>◆オンライン研修「電話の対応マナー」5/22 ◆オンライン研修「情報公開制度と個人情報保護制度」7/24 ◆「明治期の図書館文化史」8/28 ◆疏水記念館の見学 9/25 ◆職員による研修報告 6・11・12・1月 ◆避難訓練 10/23・2/4 ◆文化財フィールドワーク研修（知恩院 勢至堂重文建造物修理現場見学）2/4</p>	4	<p>・職員受講研修内容を伝達講習として職員全体で研修。 ・文化財保護課と連携して、フィールドワーク研修を実施している。</p>

京都府立図書館サービス計画	事業計画 ●は複数年で取組みを実施	重点	令和7年度実績（12月末）	評価	評価コメント
Ⅲ 大学等研究機関や文化施設等と連携するとともに、多様な議論の場を提供することにより、文化の振興と地域の活性化に寄与します					
1 3 「知的な交流の場」の活用					
大学や企業等と連携した展示を行うことにより、多様な人が互いに学び合う取組を推進します。	○大学や企業との連携展示の実施 (京都大学総合博物館、京都外国語大学附属図書館など)		◆京都外国語大学と連携した展示 「フランスの書架から」×「絵が誘う洋書～100年前の洋書から」 期間：令和7年9月26日～10月22日 ◆京都府埋蔵文化財調査研究センターとの連携展示 「豊臣兄弟の時代」 期間：令和8年2月6日～3月12日	4	・大学等との連携展示を継続して実施できた。新たな機関との連携など、さらなる取組強化に努める。 ・京都外大連携展は、NHK放映により幅広く広報できた。
ナレッジベースの特長を活かし、NPO等民間団体と協働した取組を推進します。	●サービスデザインチームによるNPO等民間団体や大学との連携事業の実施		◆京都SKYセンターシニア大学講座の開催 10/8・10/22	4	・京都SKYセンターとの協働事業を引き続き実施できた。ナレッジベースの特徴をさらに生かす取組みが課題。
NPO等民間団体が行う企画を府立図書館の資料やデータベースを活用して支援する取組を推進します。			◆「ウィキペディアにゃウン vol.8①丹後の魅力を紹介しよう」(edit Tango 主催)へ資料提供 9/21 ◆「ウィキペディアにゃウン vol.8②Wikipedia×文化財」(edit Tango 主催)へ資料提供 10/18	3	・資料提供による支援は実施したが、職員のパラレル等の取組みまでには至らなかった。
大学と連携し、大学生による「図書館応援チーム(仮称)」が企画・実施する取組を推進します。	○当館におけるインターンシップ生(京女)、図書館実習生(同志社)、キャリア演習インターンシップ型(府立大)との意見交換など、大学生との交流の実施 ○大学のカリキュラムとしての演習、図書館実習、インターンシップ等の受け入れ(継続) ●大学生が主催・運営するイベントの受け入れ	3	◆キャリア教育インターンシップ(京都府立大学)8名受入れ R7.5～R7.9 電子書籍紹介パンフレット作成 ◆インターンシップ生(京都女子大学)7名が活動 R7.5～R8.3 ◆図書館実習生(同志社大学)4名受入れ R7.11.11～R7.11.14	4	・各大学が図書館で学ばせたい内容を把握、それぞれのプログラムで学生を受入れている。
1 4 府立図書館の見える化の推進					
ホームページやSNS等を活用した効果的な情報発信を図ります。	○効果的なSNS等での発信を検討	2	◆ホームページ 95回更新 X 191ポスト フォロワー数1,882 (6) 266ポスト フォロワー数：1,760 ◆YouTube動画配信(1,969再生)	4	・ホームページやSNS発信は随時行っているが、ターゲットを絞った広報が課題。
京都府の広報媒体の活用、報道機関への効果的な広報を推進します。	○府の広報紙の活用 ○取材の積極的な受け入れ	2	◆府の記者クラブへの広報資料の提供 ◆新聞社への取材依頼	5	・新聞などマスコミのほか、雑誌からの取材依頼があり、一定の効果が生まれている。
館内見学会の実施や旧館家具等を活用した歴史ある図書館を発信する取組を推進します。	○館内見学会の定期的な実施 ○3階家具コーナーを含めた歴史的建造物の広報 ●集書院天井画修復プロジェクトの実施	2	◆毎月第3水曜日に館内見学会を実施 ・臨時の見学会にも対応 9回(5/9・6/3・7/18(2回)・7/30・8/22・10/8・11/14・12/13) ◆京都モダン建築祭にて、旧館家具、石階段などを開放。11/8・11/9で計1,271名来館。	5	・終了後のアンケートでも高い評価をいただいている。

京都市立図書館サービス計画	事業計画 ●は複数年で取組みを実施	重点	令和7年度実績（12月末）	評価	評価コメント
公益財団法人 大学コンソーシアム 京都 と連携し、大学生 を対象とした広報を推進します。	○個別の大学との連携に発展的解消	—	◆学生祭典に協力	3	・学生祭典の協力にとどまっており、今後は、個別の大学との連携を強化するなど、事業の方向性について検討。
利用案内や調べ方案内のオープンデータでの提供を推進します。	○オープンデータの作成と提供（京都府オープンデータポータルサイトの活用）	2	◆京都府図書館等連絡協議会の会報等をデータ化し、オープンデータとして登録	3	・引き続き、オープンデータの対象資料を増やして利用に供するとともに、国立国会図書館のインターネット資料収集保存事業に参画できるよう、検討を進める。
15 各種セミナー等の実施					
大学等様々な機関と連携した講座やセミナーの開催を推進します。		3	◆日本政策金融公庫 連携相談会 7/23・11/26 ◆府立図書館講演会 6回（詳細は下記のとおり）	4	・今年度も継続して着実に実施できている
図書館の持つ機能を生かした講座やセミナーに関連する 図書の展示、 図書リストの作成等を推進します。	○健康講座の定期開催と内容の充実 ○大学等と連携した講演会の実施 ○大学等と連携した展示の実施 ○講演会や展示に関連した図書リストの作成・公開 ○京都SKYセンターと連携し同センターシニア大学講座を開催	2	①「黒田清輝と博覧会」9/20 立命館大学教授 植田彩芳子氏 ②「インバウンドの原点」10/19 同志社女子大学講師 千代間泉氏 ③みんなのがん教室2025 第1回 10/25 「がんになっても自分らしく生きよう」 小口浩美氏 彦田かな子氏 大島直也氏（一般社団法人 LINKOS） ④ みんなのがん教室2025 第2回 11/18 「専門家と司書に聞く！ 信頼できる「薬」と「病気」の調べ方」 北澤京子氏（医療ジャーナリスト） ⑤みんなのがん教室2025 第3回 12/21 「からだ・こころ・くらしの整え方～看護師・臨床心理士・社会福祉士と話してみませんか？～」 京都府立医科大学附属病院 がん相談支援センター 里見志穂氏（臨床心理士）、関口 由紀子氏（社会福祉士）、酒井慈水氏（看護師） ⑥「豊臣兄弟の時代」2/14 府埋文センター主任 加藤雄太氏	4	・今年度も継続して着実に実施できている。アンケート結果も概ね好評。
京都府高等学校文化連盟と連携を図り、高校生 が前庭等を活用して発表する取組を推進します。	○京都府高等学校文化連盟等と連携した府立学校文化部の発表機会の提供	3	・ニーズの把握	3	

京都府立図書館サービス計画	事業計画 ●は複数年で取組みを実施	重点	令和7年度実績（12月末）	評価	評価コメント
1 6 大学等研究機関、文化施設等と連携した取組の推進					
岡崎エリアの文化施設等と連携して、展示や図書リストの作成等に取り組みます。	○近隣文化施設との連携強化 ○岡崎エリア施設の催しや展覧会をチェックし、可能な限り関連展示を実施・依頼に対応 ○岡崎魅力づくり推進協議会での連携事業の実施	3	◆岡崎手帖（岡崎を楽しむハンドブック）の発行協力 ◆月1回開催される、岡崎連絡会、京都岡崎魅力づくり推進協議会に参加 ◆「CONNECT 2_ こちこちの こちを こちあう」に参加 ◆9/27・28みやこめっせ主催の「岡崎マルシェ」に協力	4	・岡崎の文化施設同士が連携を図ることで岡崎全体を盛り上げる機運の醸成につながった。
岡崎エリアの文化施設等と連携して、様々な企画や事業の推進を図ります。			◆関連展覧会等のチラシ・案内を配架	4	・継続して実施。
博物館・美術館・大学等と連携し、図書館の資料を活用した取組を推進します。	○府内の大学や研究施設等と連携した展示 ○京都大学総合博物館や府内大学等と連携した取組 ○京都SKYセンターと連携した取組	3	◆京都外国語大学図書館との連携展示や講演の開催 ◆モダン建築祭 ◆京都SKYシニア大学講座の開催 10/8・22	4	・継続して実施。
1 7 行政機関と連携した取組の推進					
京都府議会図書館と連携して、府庁等行政機関の要請に応える図書の貸出等の取組を推進します。	○議会図書館と連携した研修等の実施	3	◆府庁への資料の配送 ▷議会図書館 576冊（@658冊）（K-Lib分） ◆議会事務局職員向けレファレンス研修 5/15	4	・さらなる利便性向上について、議会図書館からのニーズの聴取や連携に取組む。
府庁等行政機関からの要請に応じたレファレンスサービスの取組を推進します。	○議会図書館支援、行政支援の充実を図るための具体策検討 ○本庁各課の課題に応じたレファレンスの取組 ○電子書籍の積極的な活用 ○レファレンス申し込み・回答方法の検討 ○レファレンス等で提示した資料の提供方法の検討（著作権法第42条改正（公衆送信可）対応） ●議会図書館支援、行政支援の充実を図るための検討 ●本庁各課が施策実施に当たり法令による行政の原理に資するため、必要な判例等の調査をデータベース等により援助	3	◆議会図書館からの資料複写希望等に対応。 ◆レファレンス受付を利用サービス課と調整	4	・府庁等行政機関について検討を継続。
京都府家庭支援総合センター等行政機関との連携を図り、図書の貸出等の取組を推進します。	○京都府家庭支援総合センターへの貸出の継続 → ニーズにあった選書方法の検討 ○他の行政機関との連携	3	◆京都府家庭支援総合センターへの貸出来館3回 300冊（@500冊）	5	・継続して実施。